

11月のデキゴト

11月26日(日)開催 生活環境講座

環境学館いずみで、今年度2回計画されている生活環境講座の第二回目が開催されました。

テーマは「埼玉版 SDGs 今の環境を子供たちに残すため、私たちは何をすべきかを学ぶ」です。

講師は、埼玉県計画調整課 総括・SDGs 推進担当の、長谷川茉紀先生です。

講座には、晩秋の肌寒い曇り空の中、15名と大勢の方にご参加いただきました。やはり、近年いろいろなところでSDGs という言葉を聞くことが多くなり関心が高まっているテーマということだと思います。いずみボランティアスタッフ7名も坂戸市民として参加させてもらいました。



長谷川茉紀先生

長谷川先生からの第一声は「SDGs という言葉を聞いたことがありますか？」との問いかけです。さすがに全員「聞いたことがある」との回答です。でも次の質問「周りの人に説明できる人は？」には、「シーン」です。すると、長谷川先生から、「今日の講座を聞いて、周りの人に説明できるようになり、SDGs を広めていってください」とのプレッシャーをかけられて講座が始まりました。

長谷川先生のご説明の一部を紹介します。

<SDGs とは>

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、将来の世代のために、環境や資源を壊さずにより良い状態にするための世界的目標である。

<SDGs の全体像>

分野別の目標として整理され17のゴールと169のターゲットから構成される。



13番は「気候変動に具体的な対策を」

<SDGs～17のゴールと『経済・社会・環境』の3側面～>

「環境」を土台にして「社会」「経済」とつながっている。



<なぜ SDGs に取り組まなければならない?>

環境に目を向けると、2023年は暑い夏(「観測史上最も暑い夏」「12万年ぶり」)



このままでは、2050年には・・・

猛暑日が10月中旬まで続く

最高気温40度が何日も続く・・・



福祉に目を向けると・・・

国際理解に目を向けると・・・

太陽の陽射しが厳しくなる

<埼玉版 SDGs の推進>

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など・・・との協働を通じ、「ワンチーム埼玉」でSDGsを推進している。

・埼玉版 SDGs 重点テーマ

- ①埼玉の豊かな水とみどりを守り育む
- ②未来を創る人材への投資

・「埼玉県 SDGs パートナー」登録制度

SDGsに自ら取り組むとともに、県と連携してSDGsを普及する企業・団体等を『埼玉県 SDGs パートナー』として登録。

・県民向け普及啓発事業

- ①アプリによる普及啓発
- ②広報による普及啓発
- ③学校を通じたSDGsの普及啓発



講座風景

長谷川先生のわかりやすいご説明で、かなりSDGsについて理解できました。
また、埼玉県としての活動についても、いろいろな取り組みを知りました。
周りの人に説明できるまでには、チヨット自信はないですが・・・
でも、将来の世代のために、持続可能な環境・社会・経済に向け、一歩ずつ具体的に行動することが大切だと再認識しました。

記 環境学館ずみ運営ボランティア K.I